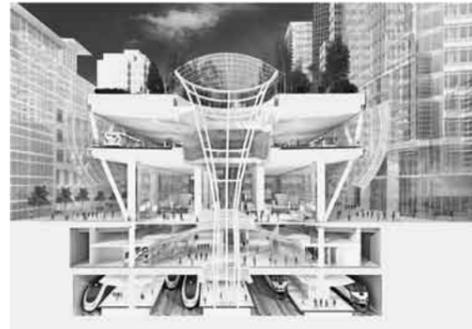




外装パース



断面パース



工事写真(敷地全景)

トランスベイ・トランジットセンター 新築工事



株式会社大林組 海外支店 北米統括事務所建築部 部長

立花章夫

Akio Tachibana

サンフランシスコ・ベイエリア

サンフランシスコ湾を囲む地域は、サンフランシスコ・ベイエリアまたは、単にベイエリアと呼ばれ、サンフランシスコ市、湾東側のオークランド市・バークレー市、南側のサンノゼ市を含む広域都市圏である。ハイテク企業の集積するシリコンバレーもベイエリアに位置する。

プロジェクトの紹介

一九三九年、サンフランシスコ市ダウンタウンの金融街近くに、旧トランスベイ・ターミナルビルが完成した。今回ご紹介するプロジェクトは、この旧ターミナルビルを最新の鉄道・バス複合ターミナルビルに建替えるものである。発注者は、トランスベイ・ジョイント・パワーズ・オーソリテイで、サンフランシスコ市、バス会社、鉄道会社、サンフランシスコ市交通局、カリフォルニア州交通局など、関係団体が共同で設立した組織である。



全景パース

新ターミナル(トランスベイ・トランジット・センター)は、近郊・遠距離バス、近郊鉄道などの交通機関が乗り入れ、ベイエリアの各都市や域外を結ぶ交通の要となる。さらに将来はカリフォルニア高速鉄道のターミナル駅となり、更なる地域の活性化・発展に寄与することが期待されている。また、ターミナル周辺には、高層集合住宅・高層オフィスビルの建設、周辺道路・公園の整備なども数多く計画されている。ターミナルビルの規模は、地下二階・地上三階建て、全幅約五二メートル、全長約四五〇メートルで、二ブロックに及ぶ。地上一階は主コンコース、二

工事概要

階は店舗・オフィス、三階はバスターミナルで、屋上公園は約二万二〇〇〇平方メートルの広さがある。地下一階は鉄道用のコンコースで、地下二階に鉄道駅が設けられる。

担当する工事は一期工事と二期工事とに分けられている。一期工事は、ターミナルビル地下階躯体と地上階工事の全て、周辺道路の埋設ユーティリティ移設及び、高速道路への接続用高架道路を含む。二期工事は、高速鉄道乗り入れ

のためのターミナルビル地下躯体延長と地下階の仕上工事である。現在のところ、一期工事完成は二〇一七年末の予定、二期工事完成はカリフォルニア高速鉄道計画の進捗と調整の上で決定される予定である。

当社は、地元の当社子会社であるウェブコー社とのJVで本工事に取り組んでいる。発注者との契約はCM/GC契約と称され、我々は設計段階から概算見積・工程計画・施工計画・専門工事業者の選定などを行うプレコンストラクションサービスと、専門工事業者と契約し施工管理を行うコンストラクションサービスを提供する。複雑な契約条項に従い、発注者・設計者の多様な要望に対応していく中で数多くの新たな取組みを行っており、例えば見積・計画業務にBIM技術を駆使し成果を上げている。現在、詳細設計が進められる一方で、周辺道路の埋設ユーティリティ移設工事、ターミナルビル地下掘削工事を施工中である。

終わりに

工事はまだ始まったばかりで、完成までには様々な困難が予想される。今後とも大林グループ一丸となった取組みを継続し、発注者のニーズに十分応える新ターミナルビルを工期内に無事完成させたい。